

永明中学校だより

令和6年 7月11日 5号 文責 矢崎

私にできることを探す旅（修学旅行） 諏訪地方唯一 東北へ 震災学習の旅

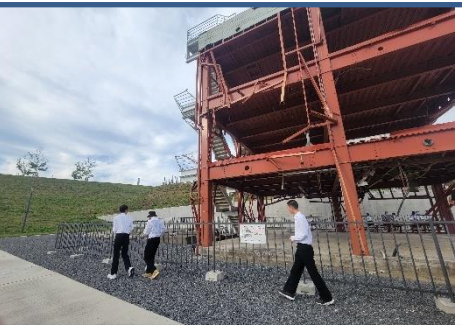
新校舎への移転があったため、せっかくの修学旅行なので、4月に慌てて実施するのではなく、時期をずらしてじっくり取り組みたいという願いの下、7月2日～4日まで東北方面への修学旅行に行ってきました。本校は3年前から、東北仙台を中心に震災学習をメインにした修学旅行を行っています。途中電車のトラブルで、予定していた新幹線に乗れないというアクシデントも経験しましたが、天候にも恵まれ、諏訪地方より気温は低く充実した修学旅行ができました。旅行出発前に、「学校はいくらでも失敗ができる場である。3年生の修学旅行として、今日からの3日間は外に出た実践の場であり、公共のマナーをはじめとして本番です。自分の頭で考え、判断し、行動して欲しい」という話をしました。生徒は、電車のトラブルで、急きょ新幹線の座席は、一般のお客さんの中に座ることになりました。まさに社会に放り出されたわけですが、所作言動含め、合格点を付けられる対応でした。永中生の大人だなと感じる場面でした。

さて、震災学習では、事前に被災者の方の思いを ZOOM で直接お聞きしたり、支援に直接行った茅野市社会福祉協議会の方から話を聞いたりしました。事前の学習で学んだことを、自分の目で確かめ、肌で感じてきました。生徒は、「私にできること」を探しているようでした。真剣に話を聞き、人の思いに触れる姿は、胸に熱い物がこみ上げてきました。

震災学習から切り替え、2日目以降は、今回初めての企画として、公共交通機関を利用した仙台市内の班別コース学習を行いました。生徒は、携帯電話を支給され、「どうしても困ったら警察に SOS を出して、戻っておいで」と真顔で先生から言われ、緊張感を持って仙台市内に旅立ちました。（無事に全員ホテルに戻ってきました）



荒浜小学校にて 児童は全員垂直避難して助かりました。教室は当時のまま。



南三陸町旧防災庁舎と3. 11メモリアル 役場で勤務していた方の話を聞き思いに触れました。



2日目 中尊寺見学 午後は、公共交通機関による班別見学 GPS 機能付きのスマホが頼りです。

3日目コース別学習 希望コースを選択して水族館や東北大学、松島遊覧船、シーカヤック等



写真に出ているグループは、東北大学資料館を見学し、その後水族館に行ったグループです。東北大学では、わざわざ大学の先生が、東北大学の歴史を説明してくれました。あまりにも生徒が熱心に聞くので、熱がこもって、本来はケースから出さない貴重な資料を出して見せてくれました。求める人には、相手も本気で応じてくれる様子が嬉しかったです。

2学年 ハケ岳登山 7月17日・18日

コロナ禍で学校登山ができない時期がありました。永明中学校では、諏訪地方でいち早く昨年宿泊を伴った登山を再開しました。今年度も地元のハケ岳硫黄岳を目指します。写真は、永明寺山への予備登山の様子です。当日はかなりの雨で、延期も考えましたが、雨具を装着することも練習だったので、実施しました。



登山で、雨具は絶対に必要な物です。ですが、意外と買ったままで使ったことがないケースもあります。登山本番では、晴れて欲しいものですが、経験は大事なことです。普段慣れている永明寺山も雨具を着て登ると、また別の発見があったかもしれません。



「私たちにできることは何か？」

総合的な学習の時間で、自分にできることを探している生徒がいました。そこで考え出したのが、小学校1年生への読み聞かせです。なぜそうなったのか？きっと本校で読書を大事にしていること、小学生と一緒に生活していることにより、あのかわいい1年生に本を読んであげたいと思ったのだと感じています。子どもの目線まで腰を落として、ゆっくり語るように読み聞かせをしていました。相手に生きる私を一つ見つけました。

「1年生 SOS を出す講演会」

1学年では、スクールカウンセラーの先生から、SOS の出し方に関わる講演会を実施しました。先生方が演技役割をしながら、わかりやすく、SOS の出し方を学びました。

